

国道15号・品川駅西口駅前広場整備事業計画検討会  
(第4回) 議事概要

1. 日時 平成31年2月20日(水) 10:00~11:30

2. 場所 東京国道事務所 第二会議室  
(千代田区九段南1-2-1 九段第三合同庁舎15階)

3. 出席者

[座長] 岸井 隆幸 (日本大学 理工学部 土木工学科 特任教授)  
[委員] 羽藤 英二 (東京大学大学院 工学系研究科 教授)  
岩田 亮一 (東京都都市整備局都市づくり政策部開発企画課長)  
田中 佐世子 (代理出席: 阪井暖子)  
(東京都都市整備局都市づくり政策部開発企画課  
開発計画推進担当課長)  
澤井 正明 (東京都都市整備局都市基盤部街路計画課長)  
村上 利雄 (港区 街づくり支援部  
品川駅周辺街づくり担当課長)  
五十嵐一夫 (国土交通省関東地方整備局道路計画第二課長)  
井上 圭介 (国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長)  
杉山 勲 (京浜急行電鉄(株)品川開発推進室 部長)  
金子 雄一 (京浜急行電鉄(株)品川開発推進室 部長)  
谷井 健 (京浜急行電鉄(株)品川開発推進室 部長)  
妹尾 寛仁 (株)西武プロパティーズ都市開発部長)  
高橋 武 (東日本旅客鉄道(株)総合企画本部  
品川・大規模開発部担当部長)  
(敬称略)

4. 議事

(1) 挨拶

日本大学 理工学部 土木工学科 特任教授 岸井 隆幸

(2) 審議

- ・「品川駅西口駅周辺の施設配置計画について」、「次世代型交通ターミナルの需要発生要因と現況交通」、「次世代型交通ターミナルの配置計画の考え方」、「賑わい広場整備の進め方」、「品川駅西口周辺における段階的な整備の考え方」について、事務局より説明を行い、引き続き具体的内容を議論し、調整していくことを確認。

## <委員からの主な意見>

### 1) 品川駅西口周辺の施設配置計画について

- ・歩行者及び次世代モビリティのネットワークの形成にあたっては、品川駅西口周辺と東口（海側）との連携についても考慮すべき。

### 2) 次世代型交通ターミナルの需要発生要因と現況交通

- ・徒歩、バス、タクシー、自家用車から次世代モビリティへの転換、あらたに需要が創出される範囲については、モビリティの利用料金の設定の考え方にもよるが、品川駅西口からバス、タクシー、自家用車の移動圏域が重複する 5km 圏内がひとつの目安と考えられる。

### 3) 次世代型交通ターミナルの配置計画の考え方

- ・次世代型交通ターミナルの配置の考え方については、今後進められる街づくりの進捗、モビリティへの需要等と合わせ、ターミナルの整備を段階的に進められ、さらに北側通路からの動線確保、高輪 3 丁目側への視線の確保が容易となる、建屋分棟の考え方が妥当と考えられる。
- ・次世代型交通ターミナルへの車路の計画については、隣接する高輪 3 丁目の街づくりと一体で進められるべきものであり、関係する街づくり計画と併せ具体化のための調整を進められたい。

### 4) 賑わい広場整備の進め方

- ・国道上空の整備を進めるにあたっては、今後、具体化する可能性のある関連計画（地下鉄延伸等）との関わりにも十分配慮願いたい。

### 5) 品川駅西口周辺における段階的な整備の考え方

- ・品川駅西口の街づくりが今後具体化するにあたっては、関係する基盤（連立事業等）の整備とともに、各街づくりがスムーズに連動していくことが重要。
- ・リニア中央新幹線の開業が予定されている第 2 ステップにおいては、歩行者、モビリティのネットワークの形成がどのように進められるか、関係事業者間で十分に調整を図られたい。

以上